



病院長挨拶

中国労災病院 病院長
榎野 新

寒かった冬も次第に遠のき、心地よい風が吹き始めて少し過ごしやすくなりました。ふと気付くと白木蓮の花が満開となっています。皆様方、いかがお過ごしでしょうか。

年々、医療を取り巻く環境は厳しさを増していますが、特に急性期病院にとっては厳しさが身に凍みる今日この頃です。私たちはこの様なときにこそ、病院の基本に帰ろうと考えています。そのため当院では以前から基本方針にしている次の2項目について更に推進していきたいと思っております。

- 「救急は医療の原点」であることの再確認
- 「二人主治医制」の推進

救急外来については、4月からしばらくの間、当院の救急医が2名から1名に減員になります。今までの救急体制を維持するために救急医が復員するまで各診療科医師、スタッフが力を合わせてこれを乗り切りたいと考えています。皆様にはご迷惑をおかけすることがあるかも知れませんが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

「二人主治医制」とは、先生方と協力してこの地域に居住する全ての患者さん一生涯の健康を管理していこうとする考え方です。そのためには今まで以上に地域医療連携を推進していく必要があります。地域医療連携室ではこの4月から人員を強化します。具体的には、今まで病院長が兼任していた地域医療連携室長を笹重善朗副院長の担当にします。

MSWを1名増員して3名に、看護師を1名増員して6名に、それに事務員3名の体制とします。これにより地域医療連携室では今までよりきめ細かな対応ができるようになればと考えています。

毎年恒例の「地域医療連携懇話会」を5月25日に開催する予定にしています。詳しい日程は時期が近づきましたらお知らせ致しますが、その時一緒に当院の診療体制についてのアンケートもお願いしたいと思います。ご協力をお願い致します。

当院ではこれからも地域医療連携に力を入れていきます。今までのご支援に感謝致しますとともに、引き続きご交誼を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成29年4月吉日